

みずほCustomer Desk Report 2023/08/14 号(As of 2023/08/11)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	144.87	1.0982	159.05	1.2668	0.6512
SYD-NY High	145.00	1.1004	159.23	1.2735	0.6533
SYD-NY Low	144.40	1.0943	158.61	1.2667	0.6486
NY 5:00 PM	144.96	1.0947	158.70	1.2697	0.6498

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,281.40	105.25	日本2年債	-	-
NASDAQ	13,644.85	▲ 93.14	日本10年債	-	-
S&P	4,464.05	▲ 4.78	米国2年債	4.8915%	0.0435%
日経平均	-	-	米国5年債	4.3021%	0.0701%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.1571%	0.0507%
シゴ日経先物	32,470.00	▲ 75.00	独10年債	2.6185%	0.1160%
ロンドンFT	7,524.16	▲ 94.44	英10年債	4.5235%	0.1640%
DAX	15,832.17	▲ 164.35	豪10年債	4.1190%	0.0870%
ハンセン指数	19,075.19	▲ 173.07	USDJPY 1M Vol	8.81%	0.02%
上海総合	3,189.25	▲ 65.31	USDJPY 3M Vol	9.42%	0.03%
NY金	1,946.60	▲ 2.30	USDJPY 6M Vol	9.30%	0.02%
WTI	83.19	0.37	USDJPY 1M 25RR	▲ 0.68%	Yen Call Over
CRB指数	279.74	▲ 0.23	EURJPY 3M Vol	9.46%	▲ 0.06%
ドルインデックス	102.84	0.32	EURJPY 6M Vol	9.52%	▲ 0.01%

東京	前日NY時間の堅調な流れを引き継ぎ、アジア時間のドル円は144.87レベルでスタート。東京休場で参加者も少なく、心理的節目の145円を目前に警戒感が強まる中、144円台後半でもみ合う展開となった。ハンセン株指数を中心としたアジア株の軟調推移も目立つ中、ドル円は午後にかけてもやや上値重く推移し、144.73レベルでアジア時間クローズ。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.73レベルでオープン。円休日で特段の材料がない中、午後に米7月PPIを控えてじり安で推移。結局、144.48レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2716レベルでオープン。英第2四半期GDPが前年比で予想を上回る成長率となり1.2735まで買われ、そのまま1.2733でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円台後半でスタート。前日の円売り地合いが続く、144.89まで上昇する。しかし、その後アジア株が軟調な動きを見せると、円買いが優勢となり、144.70付近まで下落する。欧州時間に入ると欧州主要株式市場も総じて下落する展開を受け、リスクオフの円買いが強まり、じり安で推移し、144.48レベルでNYオープン。朝方に発表された米7月コアPPI(前年比)が予想を上回り、米インフレが予想程減速していない思惑から、ドル買いが優勢となり、144.88まで上伸する。続いて発表された米8月シガン大学消費者マインド指数(速報値)は予想通りの結果となるものの、5-10年期待インフレ率は予想を下回った内容が嫌気され、売りで反応し144.40まで下落する。その後はダウ平均株価の堅調な展開が下値を支え、144.95まで反発する。午後ドル高基調が続く、心理的節目の145円をタッチするも、週末を控え、積極的な取引が手控えられる中、上抜けできず反落し144.96レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。1.0990を挟んだ方向感乏しい推移が続く、1.0998レベルでNYオープン。朝方は先述の米7月PPIの結果を受け、ドルが買われる中、1.0955まで下落する。その後、冴えない米8月シガン大学消費者マインド指数の内容から1.0984まで戻すも、長続きせず反落。午後でもドル高の展開に上値を抑えられ、じり安での推移が続く、1.0947レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・田川

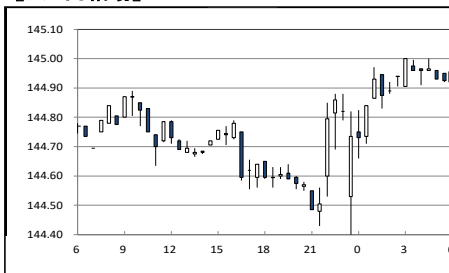
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月11日	15:00	英 鉱工業生産(前月比)	6月 1.8%	0.2%
	15:00	英 GDP速報 前期比/前年比	2Q P 0.2%/0.4%	0.0%/0.2%
	15:00	英 個人消費(前期比)・速報	2Q P 0.7%	0.0%
	21:30	米 PPI 前月比/前年比	7月 0.3%/0.8%	0.2%/0.7%
	23:00	米 シガン大学消費者マインド・速報	8月 71.2	71.2

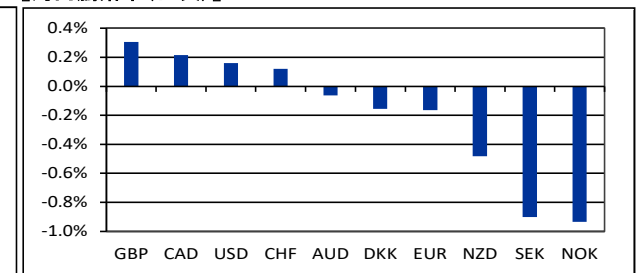
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
------	------	-------	----	----

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.40-145.40	1.0900-1.1010	157.80-159.00

【マーケット・インプレッション】

先週末、10日から11日にかけてのドル/円は堅調な値動きとなった。注目された10日発表の米7月消費者物価指数(CPI)は市場予想をやや下回り、発表直後のドル/円は143円台前半に一時急落した。しかし、伸びは前月から加速、13か月ぶりに拡大したことを背景に米長期金利が上昇すると、ドル/円も反転、144円台後半に上値を伸ばす展開に。東京市場が休日の11日は同レベルで底堅く推移し、米国時間に発表された米7月卸売物価指数(PPI)が市場予想を上回ると、145円丁度まで上昇、そのまま高値圏で経過している。本日のドル/円は小動きに終始すると予想。注目された米7月CPIは弱めだったものの、米長期金利の上昇に支えられて144円台後半に水準が切り上がっている。米景気は堅調、失業率は低水準ということもあり、底堅い動きとなりそうな一方で、145円台だと円買い介入警戒感が高まることから、上値追いは慎重になると思われる。夏休みに入っている企業が多いこともあり、動意乏しく、本日は現レベルでもみ合う展開となりそうだ。